

授業科目

眼科薬理学II

担当教員名 張替 涼子	対象学年	3	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	

授業の概要

眼科臨床で使用する検査用薬物について、使用目的、使用法、使用上の注意点や副作用を解説する。
眼科疾患に用いられる治療用薬物の作用と副作用を、眼科疾患と結び付けて解説する。

授業の目的

視能訓練士に必要な薬理学の臨床的知識を身につける。

学習目標

1. 検査診断用薬物の使用目的、使用法が理解できる。
2. 日常診療で遭遇する疾患の病態と治療薬の作用機序を関連付けて理解できる。
3. 点眼薬の正しい点眼手技を説明、実行できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	医薬品ができるまで（創薬、製剤化、治験、製品化） 主な点眼薬と使用目的、点眼手技	講義	張替 涼子
2	医薬品の副作用と医原性眼疾患（Stevens-Johnson Syndrome、薬剤性上皮障害ほか）	講義	張替 涼子
3	検査用薬物（散瞳薬、生体染色用薬物、点眼麻酔薬、造影検査用薬物）の作用、使用法、副作用） アナフィラキシーショックへの対応	講義	張替 涼子
4	感染症治療薬の作用、使用法、副作用	講義	張替 涼子
5	抗炎症薬、消炎鎮痛剤、抗アレルギー剤の作用、使用法、副作用	講義	張替 涼子
6	角膜、ドライアイ治療薬の作用、使用法、副作用 コンタクトレンズと点眼薬 白内障治療薬の作用	講義	張替 涼子
7	眼科手術に使われる薬物 全身疾患治療薬（降圧剤、糖尿病治療薬）の作用、副作用 トピックス：眼科で使われる生物学的製剤、サプリメント	講義	張替 涼子
8	まとめ	講義	張替 涼子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	視能学 第2版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子（編）	文光堂	2011年	18,000円＋税	
	標準眼科学 第13版	木下茂（編） 他	医学書院	2016年	7,000円＋税	
参考書	点眼薬クリニカルブック	庄司純、河嶋洋一、吉川啓司（編）	金原出版	2015年	3,400円	
その他の資料	適宜プリントを配布、またはポータルサイトに掲載する。					

評価方法

定期試験：80%
提出物：20%

履修上の留意点

再試験、追試験は必要があれば、原則として1回のみ実施する。
締め切りをすぎた提出物は原則として受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

月曜日：18:00～19:00
研究室：P306
harigai@nuhw.ac.jp